平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名　三菱製鋼株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5632　URL　http://www.mitsubishisteel.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 大野信道
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 福井淳　TEL 03-3536-3135

四半期報告書提出予定日　平成25年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	80,717	△18.4	2,186	△75.4	2,506	△69.5	1,249	△58.9
24年3月期第3四半期	98,859	5.9	8,898	30.6	8,219	27.6	3,041	8.3

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　1,425百万円　(△37.1%)　24年3月期第3四半期　2,267百万円　(△26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	8.11	―
24年3月期第3四半期	19.74	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	111,181	57,342	46.0
24年3月期	119,911	56,532	42.1

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　51,192百万円　24年3月期　50,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	1.50	―	3.00	4.50
25年3月期	―	1.00	―		
25年3月期(予想)				1.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△24.7	2,600	△76.6	2,000	△81.4	900	△71.6	5.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) MSSC CANADA

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	156,556,683 株	24年3月期	156,556,683 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,517,978 株	24年3月期	2,516,353 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	154,039,776 株	24年3月期3Q	154,045,116 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報……2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……3

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項……3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3

3. 四半期連結財務諸表 ……4
(1) 四半期連結貸借対照表 ……4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
(3) 継続企業の前提に関する注記 ……8
(4) セグメント情報等 ……8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年４月～平成24年12月）における当社グループを取りまく経営環境は、主要な需要先である自動車業界の需要は比較的堅調に推移したものの、建設機械業界の需要が中国関連の落ち込みと、それに伴う顧客の在庫調整の長期化があったため大幅減となり、非常に厳しい状況となりました。

このような状況下、当第３四半期連結累計期間の売上高は、特殊鋼鋼材事業の売上減により、前年同期比△18.4%、181億４千１百万円減収の807億１千７百万円となりました。経常利益は、ばね事業で北米子会社の改善が進んだものの、特殊鋼鋼材事業の国内需要の減少により、前年同期比△69.5%、57億１千３百万円減益の25億６百万円となりました。また、当第３四半期純利益は、前年同期比△58.9%、17億９千１百万円減益の12億４千９百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[特殊鋼鋼材事業]

売上高は、主要顧客である建設機械向けの需要減と在庫調整の長期化、さらに輸出低迷の影響もあり、前年同期比△37.0%、193億１千７百万円減収の329億２千７百万円となりました。経常利益は、コストダウンに努めたものの、国内需要の大幅な減少及び価格の下落により、前年同期比△99.3%、63億４千５百万円減益の４千４百万円となりました。

[ばね事業]

売上高は、自動車関連で国内でのエコカー補助金終了と中国での売上減の影響があったものの、北米需要が堅調に推移したため、前年同期比4.0%、12億５千３百万円増収の325億６千９百万円となりました。経常利益は、売上増及び北米子会社の赤字幅縮小と為替の影響により、前年同期比1,209.1%、11億３千１百万円増益の12億２千５百万円となりました。

[素形材事業]

売上高は、鉱山用建設機械部品の需要増があったものの、ターボチャージャー部品の売上減等により、前年同期比△2.7%、２億５千９百万円減収の92億３千２百万円となりました。経常利益は、売上げの減少等により、前年同期比△18.5%、２億２千９百万円減益の10億７百万円となりました。

[機器装置事業]

売上高は、鉄構品・機械品とも受注が低調に推移し、前年同期比△15.2%、11億８千３百万円減収の66億２千万円となりました。経常利益は、コストダウンに努めたものの、売上げの減少により、前年同期比△25.5%、１億１千４百万円減益の３億３千４百万円となりました。

[その他の事業]

流通及びサービス業等でありますが、売上高は前年同期比△11.9%、３億３千８百万円減収の25億１千１百万円、経常利益は前年同期比△25.3%、４千４百万円減益の１億３千万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は1,111億８千１百万円となり、前連結会計年度末に比べ87億３千万円減少しました。主な要因は、売上債権の減少、たな卸資産の減少等であります。当第３四半期連結会計期間末の負債合計は538億３千９百万円となり、前連結会計年度末に比べ95億４千万円減少しました。主な要因は、仕入債務の減少、未払法人税等の減少、長期借入金の減少等であります。当第３四半期連結会計期間末の純資産は573億４千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億９百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期通期の連結業績予想については、平成24年10月19日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

MSSC CANADAは、MSM (N) CANADA INC.(当社100%出資)とMSM CANADA INC.(当社75%出資)とのパートナーシップ形態により運営されてきましたが、当第３四半期連結会計期間において、組織簡素化の為、MSM (N) CANADA INC.はMSM CANADA INC.のMSSC CANADAの持分を取得致しました。これに伴い、MSSC CANADAは解散となり、MSM (N) CANADA INC.に吸収されたものであります。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
これによる当第３四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,686	8,469
受取手形及び売掛金	29,189	21,591
有価証券	17,200	17,500
商品及び製品	7,008	6,178
仕掛品	4,026	3,787
原材料及び貯蔵品	2,784	2,892
その他	4,037	4,823
貸倒引当金	△16	△21
流動資産合計	73,916	65,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,375	10,268
機械装置及び運搬具（純額）	9,026	8,686
リース資産（純額）	671	703
その他（純額）	7,113	6,748
有形固定資産合計	27,187	26,406
無形固定資産		
のれん	1,736	1,462
その他	991	1,801
無形固定資産合計	2,727	3,263
投資その他の資産		
投資有価証券	13,449	13,733
その他	2,669	2,595
貸倒引当金	△40	△39
投資その他の資産合計	16,079	16,288
固定資産合計	45,995	45,959
資産合計	119,911	111,181

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,715	15,277
短期借入金	8,096	8,013
リース債務	145	161
未払法人税等	2,727	74
その他	6,344	5,832
流動負債合計	37,030	29,358
固定負債		
長期借入金	17,049	15,163
リース債務	495	489
退職給付引当金	6,618	6,762
役員退職慰労引当金	90	101
負ののれん	177	149
その他	1,918	1,815
固定負債合計	26,348	24,480
負債合計	63,379	53,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,924	9,924
資本剰余金	3,605	3,605
利益剰余金	36,589	37,222
自己株式	△1,068	△1,068
株主資本合計	49,050	49,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,723	2,894
為替換算調整勘定	△1,345	△1,385
その他の包括利益累計額合計	1,377	1,508
少数株主持分	6,104	6,149
純資産合計	56,532	57,342
負債純資産合計	119,911	111,181

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	98,859	80,717
売上原価	81,191	70,145
売上総利益	17,667	10,572
販売費及び一般管理費	8,768	8,385
営業利益	8,898	2,186
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	144	154
為替差益	－	318
その他	222	305
営業外収益合計	390	801
営業外費用		
支払利息	250	294
為替差損	417	－
その他	401	187
営業外費用合計	1,069	481
経常利益	8,219	2,506
特別利益		
固定資産処分益	－	27
投資有価証券売却益	20	－
特別利益合計	20	27
特別損失		
固定資産処分損	－	11
減損損失	50	－
投資有価証券評価損	11	－
環境対策費	350	－
特別損失合計	411	11
税金等調整前四半期純利益	7,829	2,522
法人税、住民税及び事業税	3,164	894
法人税等調整額	735	348
法人税等合計	3,899	1,242
少数株主損益調整前四半期純利益	3,929	1,279
少数株主利益	888	30
四半期純利益	3,041	1,249

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,929	1,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,149	170
為替換算調整勘定	△512	△24
その他の包括利益合計	△1,662	146
四半期包括利益	2,267	1,425
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,451	1,380
少数株主に係る四半期包括利益	816	45

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注 1）		（注 2）	（注 3）
売上高								
外部顧客への売上高	48,907	31,313	9,240	7,798	1,348	98,609	250	98,859
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,336	2	251	5	1,500	5,096	△ 5,096	―
計	52,244	31,315	9,491	7,804	2,849	103,705	△ 4,846	98,859
セグメント利益	6,389	93	1,236	449	174	8,343	△ 123	8,219

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2.売上高の調整額250百万円は、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額△144百万円及び内部取引の調整額394百万円であります。

セグメント利益の調整額△123百万円は、各セグメントに配分していない全社損益予算差△92百万円、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額43百万円、のれん及び負ののれんの償却額△246百万円及び棚卸資産未実現利益額等171百万円であります。

全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び受取配当金であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）　（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	（注 1）		（注 2）	（注 3）
売上高								
外部顧客への売上高	30,659	32,569	8,969	6,588	1,380	80,166	551	80,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,267	―	262	32	1,131	3,694	△ 3,694	―
計	32,927	32,569	9,232	6,620	2,511	83,860	△ 3,142	80,717
セグメント利益	44	1,225	1,007	334	130	2,741	△ 235	2,506

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2.売上高の調整額551百万円は、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額202百万円及び内部取引の調整額348百万円であります。

セグメント利益の調整額△235百万円は、各セグメントに配分していない全社損益予算差△114百万円、決算期の異なる海外子会社の決算期間差調整額△55百万円、のれん及び負ののれんの償却額△246百万円及び棚卸資産未実現利益額等181百万円であります。

全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び受取配当金であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間のセグメント損益への影響は軽微であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。